

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、従業員、取引先、高齢者の方やそのご家族、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、「人間尊重」を経営の基本とし、安心・安全・健康に資する最高品質の介護サービスのご提供、ならびに働き甲斐と働きやすい職場の提供を行うなど、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、「介護産業の持続可能性を高め、より多くの高齢者の生活を支える」「より多くの高齢者の健康寿命を延伸する」という社会価値を創出するという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、「人間尊重」の理念の下、ご利用者お一人おひとりに寄り添う個別性の高い最高品質のサービス提供に取り組む他、サービスの担い手である従業員に対しても「介護プライド」を体現する真のプロフェッショナルを育む人材教育や、やりがいを醸成する処遇改善（賃金の引上げ）等の人材投資を積極的に実施しています。

テクノロジーを最大限活用しながら、人には人にしかできないことを行う「未来の介護」を創り上げることを最大のミッションとして、介護サービスの品質向上と業務負担の軽減に取り組むことで、生産性向上と付加価値の最大化を実現し、持続的な成長を目指します。

成長により産み出す収益や成果は、社会情勢や自社の状況を踏まえた適切な時期と方法で、賃金の引上げだけではない働きやすさ向上も含めた総合的な労働条件の向上、人材育成の拡充等（教育訓練等）に積極的に投資することで、従業員への持続的な還元を目指します。

具体的には、2019年以降の継続的な処遇改善（賃金の引上げ）を始めとする労働条件向上策を検討するとともに、人材投資についてパーパス経営の浸透、従業員エンゲージメント向上に向けた各種研修（教育訓練等）を実施してまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

[【https://www.biz-partnership.jp/declaration/89080-17-00-tokyo.pdf】](https://www.biz-partnership.jp/declaration/89080-17-00-tokyo.pdf)

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

3. その他のステークホルダーに関する取組

SOMPO ケアグループは、高齢者やそのご家族の多様なニーズに応えるため、施設介護サービスや在宅介護サービス等のフルラインナップの介護サービスを提供します。また、地域の一員として、医療、看護等との地域と連携した介護サービスにも積極的に取組むことにより、超高齢社会を迎えた日本が抱える様々な課題に対するソリューションの提供を実現します。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

2025年3月31日

SOMPO ケア株式会社
代表取締役社長 CEO 鷲見 隆充